

MIE UNIVERSITY X

三重大学広報誌

三重大 X

[えっくす]

CONTENTS

ホットNEWS

—防災・減災— 頑張れ三重!!

特集

おもしろ研究・先生Ⅷ

03

速報

文部科学省等支援プログラム

09

特集

学ぶ・育む プログラム「X」

11

イベント

13

気になるNEWS

15

スポット／クラブ・サークル

17

本の紹介

19

表彰／報告

21

お知らせ

23

歴史街道シリーズ

26

vol. **26** 2011
SUMMER

防災・減災 頑張れ 三重!!


ホット NEWS

三重大学は、三重県等と協力して、以下のような支援活動を行っています。

三重県 支援 東北地方

医療


DMAT [3月11日~]



DMATとは、災害の急性期(48時間以内)に医療活動できる機動性をもった医療チームを指します。

医療救護班 [3月17日~]

被災地の病院や避難所等において継続的に活動を行っています。



- 医療救護班 13チーム
- 心のケアチーム 5チーム
- 国立大学病院 東海北陸ブロック医療支援 4チーム など(7月7日現在)

災害復興

ボランティア活動

- ボラパック(みえ災害ボランティア支援センター)
- 学生災害ボランティア



学生ボランティア説明会



ボラパック

経済

義援金

- 三重大学教職員 1,000万円
- コンケン大学(タイ国・海外協定大学) 100万円





他にもさまざまな支援活動を行っています

うま **美し国おこし・三重さきもり塾**は、**三重大学**が中心となり、近い将来**必ず**発生すると言われている**東海・東南海・南海地震**といった**巨大地震による広域複合災害**に備えて**強いまちをつくるための人材ネットワーク**を築きます。

※美し国おこし・三重さきもり塾とは、三重大学と三重県地域が連携して、防災・減災活動を率先して担うことのできる人材を養成する場であり、大学院(工学研究科)の中に、「特別課程」と「入門コース」を設置しています。
<http://www.sakimori.eng.mie-u.ac.jp/>

6月4日に、東日本大震災の緊急報告会も兼ねて**さきもり塾の研究成果公開シンポジウム**を開催しました。



災害発生時にパニックにならないよう**避難訓練**をしておきましょう!



津波が来たら山に逃げましょう!

※特別課程を修了すると「美し国 三重のさきもり」、入門コースを修了すると「美し国三重のさきもり補」として認定されます。

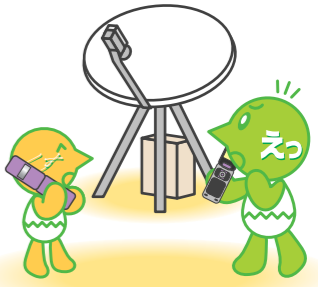


9月2日に、**大学教職員等を対象とした津波避難訓練**を予定しています。

避難訓練



通信訓練



災害対策本部設置訓練



特集
おもしろ
研究・先生
Ⅷ

ベトナムのストリートチルドレンと共に
学びの門をたたく



三重大学国際交流センター教授
吉井 美知子 Yoshi, Michiko

ホーチミン市にあるビジュアル能力開発センターにて

きっかけはバレーボール

小学校から続けていたバレーボールが、私とベトナムを引き合わせてくれました。大学を卒業後、留学先のパリで出会ったバレーボール仲間は、ポートピープルとしてフランスに逃れてきたベトナム人でした。彼らと食事を共にし、コミュニケーションを深める内に、とうとうベトナムにはまって1991年にはパリ大学ベトナム語学科の修士号を取得し、帰国後就職した専門商社では1993年にベトナム駐在事務所の初代所長に任命されました。同時にストリートチルドレンのケアをする団体に寄付を始めました。その後、団体経営者のベトナム人と結婚、本業の傍らNGO設立や経営を手伝う羽目に。元来ボランティアや国際協力に興味はなかったのですが、やっているうちに年々規模を拡大するNGOの広報活動が面白くなってしまったのです。



ストリートチルドレンとは

ストリートチルドレンの定義は様々かつ、その数も流動的でベトナム全国で2万人とも20万人とも言われています。しかしその多くは18歳以下の子どもたちで、靴磨き・屑拾い・スリなどをして路上生活を営んでいます。現在私は、そのような学校に行けない子どもたちを集めて、寄宿生ケアや小学校に代わる無料授業の提供等の活動に協力していますが、「よいこと」をしているはずが、集会・結社の自由がない社会主義国では必ずしも歓迎されません。子どもたちにとっては貴重な支援でも、政府からは嫌がらせを受けて苦勞の多い活動でした。やがてそのボランティアNGO活動がキャリアとして認められ、2001年にJICA※1 専門家に転職して以来、ODA※2の実務家としてベトナムとモロッコで勤務することになりました。

※1：途上国支援等を行う国際協力機構 ※2：貧困の撲滅を掲げる政府開発援助

◎F.F.S.C.ホーチミン市ストリートチルドレン友の会
http://www.geocities.jp/ffsc_saigon/

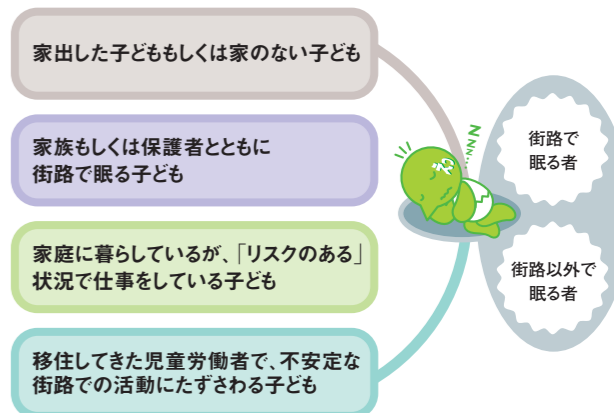


母、学びの門をたたく

転職したら、これまでのNGO活動を理論的にまとめたくなりました。当時、10歳と4歳の二児の母でしたが、元来よりの勉強好きの性分を抑えきれず、博士進学を決意しました。気持ちが固まれば、一直線。入試に数学があったので高校の問題集を取り寄せて頑張りました。2004年4月に家族をベトナムに置いて東京大学大学院に単身留学、学生寮とキャンパスのある本郷を往復する毎日を過ごし、2007年モロッコ勤務中に国際協力博士号を取得し、2008年に三重大学に就職して現在に至ります。これらのキャリアはすべてベトナムのストリートチルドレンのおかげといっても過言ではありません。

ストリートチルドレンの分類

出展：Terre des Hommes Foundation 2004 ※3を和訳



※3：A Study on Street Children IN HO CHI MINH CITY (Reference Document)
：National Political Publisher Hanoi - 2004



ホーチミン市にて空き缶を集めるストリートチルドレンの女の子

ベトナムから学ぼう

これまでの研究では、社会主義国ベトナムで市民が政府の迫害に耐えて活動を続けるメカニズムを検証していましたが、その中で日本はベトナムを支援する側でした。しかし23年の海外生活を経て帰ってみれば、日本でも子どもたちを取り巻く社会問題が深刻化しています。集会・結社の自由が保障されている日本の市民がベトナムから学べることはないか。「日本＝先進国＝支援する側」という図式を超えて、今後は「ベトナム＝途上国＝でも日本が学ぶことがある」という図式を探ってみたいと思っています。

特集 おもしろ研究・先生

Ⅷ

マーケティング論で人生をリッチに
人を魅了する法則



三重大学文学部法律経済学科・教授
後藤 基 Goto, Motoi

附属図書館にて

マーケティングの4P



「マ、あれ買ってよ!」

子どもを連れて街を歩いていると、突然「ママ、あれ買ってよ!」と叫ぶ。子どもが指さす先に、最近よく見るおもちゃがある。こんな日常の光景も、マーケティングで説明できます。

子どもをターゲットにした場合、魅力あるおもちゃは、子どもに人気のあるキャラクター付きのパッケージに入れた製品(製品戦略)、子どもが小遣いで買える、ねだって買ってもらえる値段(価格戦略)、子どもや親子連れでよく行く場所(流通戦略)、子どもが良く見るTVや広告(プロモーション戦略)で構築されています。これは、マーケティングの4Pと言われ、ほぼ全ての商品で行われています。

マーケティングの出発点は「顧客」

商品を提供する上で、「顧客を満足させる」と「顧客が満足する」、この2つの言葉の違いは何でしょうか。前者は、この製品で満足せよとする製品ありきの独りよがりの発想です。後者は、顧客・消費者はどんなものを欲しがっているのか、必要なものは何かを十分知り、それに適合した商品を提供する顧客重視の発想です。

P.F.ドラッカー^{*1}は、「マーケティングの究極の目標は、セリング(販売・売り込み)を不要にすること」と述べています。この意味は、顧客のニーズをよく理解して提供されている商品やサービスが、「顧客・消費者」にぴったりと合って、ひとりでに売れていく状態(=顧客が満足している状態)を示しています。

*1: マネジメント理論で著名な経営学者

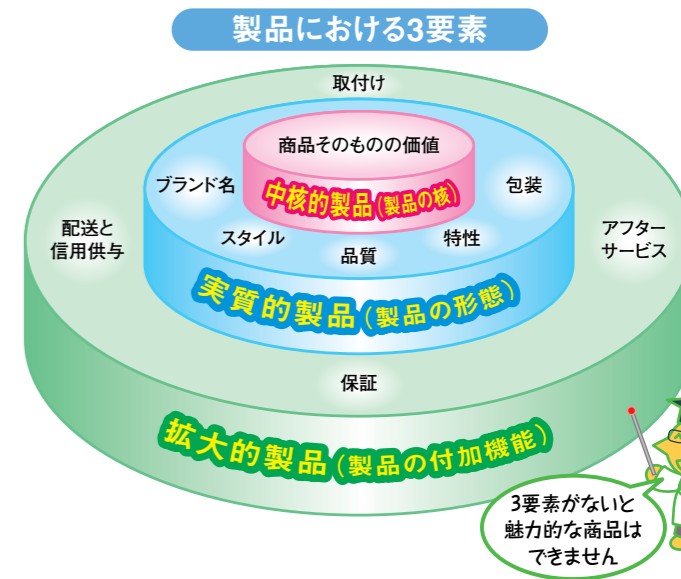
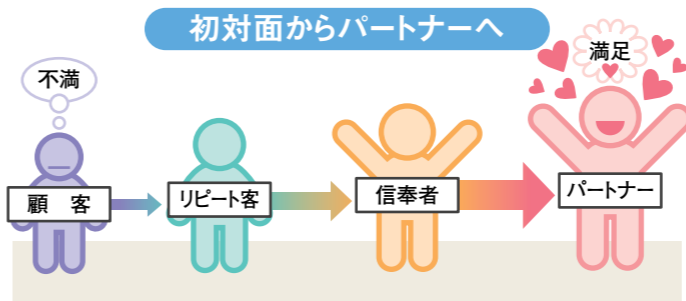
「人間関係」のあるものをすべてを対象

顧客を出発点とするマーケティング論は、人間関係が生ずる全てを対象とします。企業はもちろん、教育・医療・行政などの機関や団体、個人や家庭なども含めて考えることができます。

製品やサービスを購入後、買い手が満足を感じるかどうか、それは売り手がどれほど買い手の期待に応えるかによります。提供されたものが、期待以下であれば、顧客は不満を覚え、反対に、期待通りであれば満足を感じます。

日常の商品・サービス購入の際の選び方も、こうした経験が根底にあります。

この“満足”の経験と蓄積によって、顧客・消費者は、リピート客となり、さらには信奉者・パートナーとなり、永続的な関係を構築することにつながります。どこか恋愛や結婚と似ていますね。



3要素がないと魅力的な商品はできません

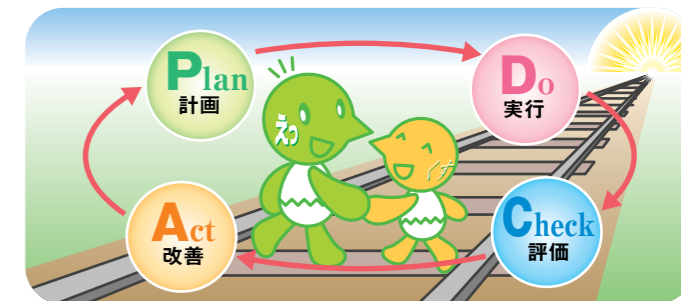
マーケティング論で恋愛マスターに

マーケティングは、単なる販売の方法や、広告の仕方ではありません。「顧客を魅了する」全ての活動と言えるでしょう。

恋愛で考えてみましょう。「恋愛」も「マーケティング」も目的は同じ「ターゲットを自分のファンにさせること」です。「させる」ことであり、「する」ことではありません。「すること」は口説き落とす方法であり、無理矢理押し倒すことになります。それは「恋愛」でも「マーケティング」でもなく「強要」です。「マーケティング的恋愛」は、異性に好かれる努力であり、自分を高め相手を引きつける努力なのです。双方の満足と経験の蓄積は、やがて運命の人であれば「結婚」に至るかもしれません。

互いを想い合うPDCAサイクル^{*2}と4Pの検証を用いて豊かな人生を過ごしませんか?

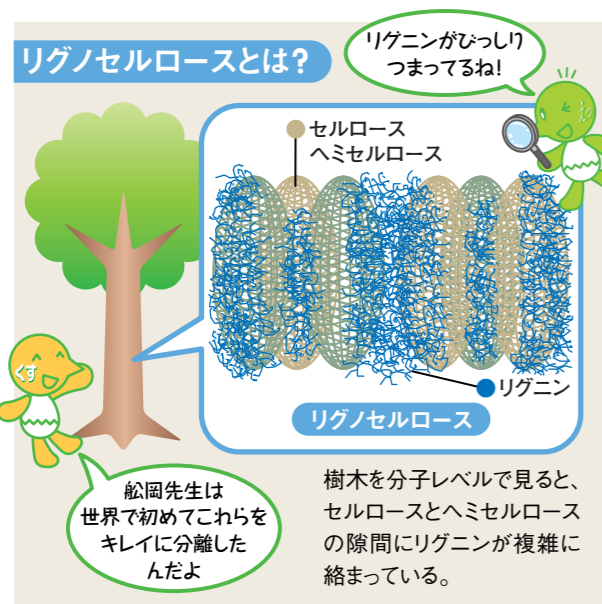
*2: 継続的な改善を目指すマネジメント手法





特集 おもしろ研究・先生Ⅷ

リグノセルロースの最先端 究極のバズルを解く



森林は究極の分子農場

森林は、太陽光を浴びて炭酸ガスと水が濃縮と解放を繰り返す壮大な物質循環の現場です。そこには熱も臭いも音もなく、人間の工場とは根本的に異なる究極の精密分子変換工場です。奈良の法隆寺が1000年を超えその優美な姿を保っている事実、そして石炭・石油の重要なルーツの一つが太古の森林資源であることなどを考えると、植物の生命活動時のみならず、生命活動停止後もその流れは極めて雄大であることが分かります。

生態系をかき乱すことなく持続的な社会を構築するためには、この雄大な時間軸を受け入れ、その流れにしたがって多段階にゆっくりとその機能をその都度活用する姿勢が必要です。

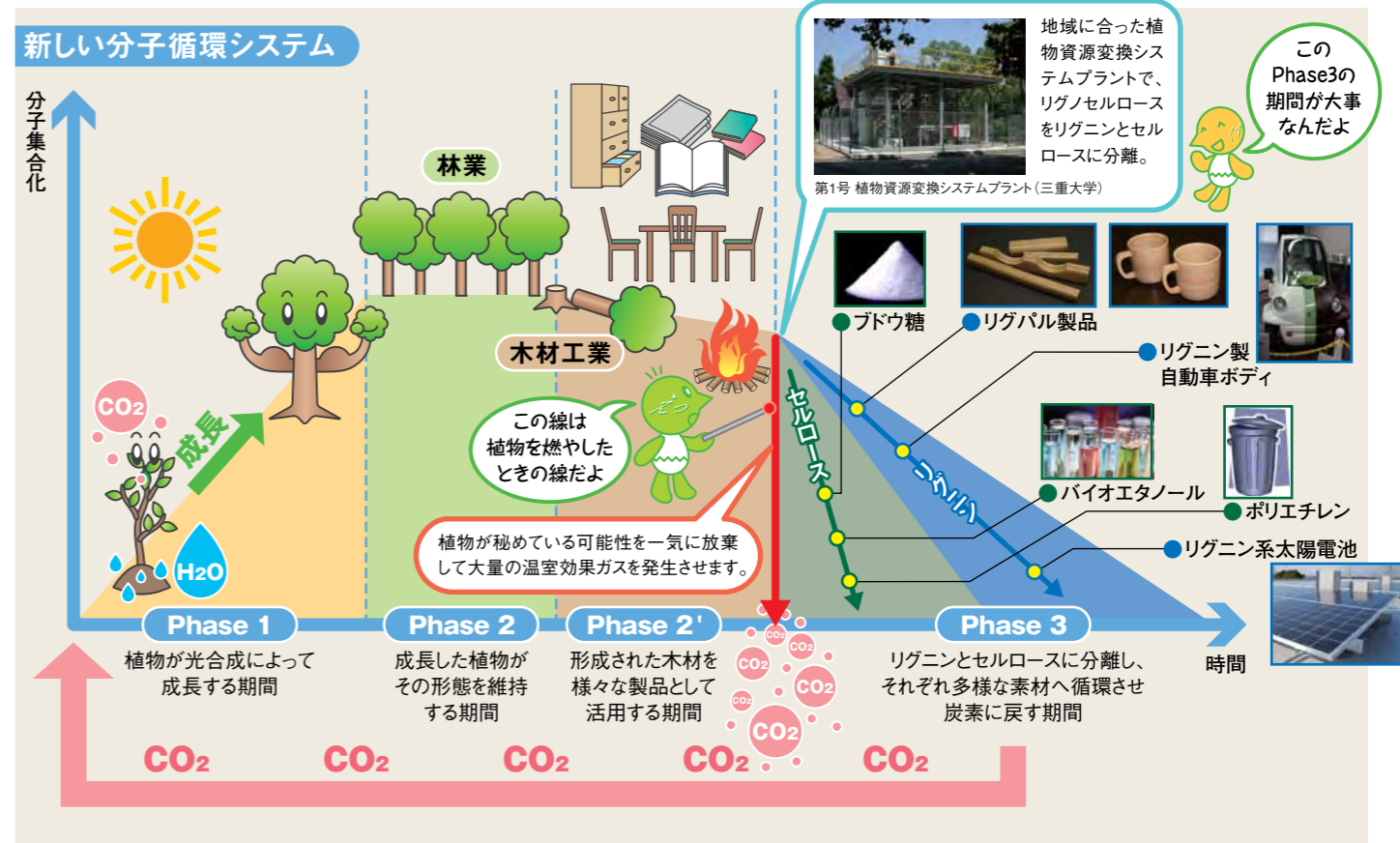
究極のバズル

樹木が簡単に朽ちないこと…。これは裏を返せば、樹木が構成している素材、そしてその絡まりを解きほぐすことがいかに困難であるかを我々に提示しています。しかし、樹木の分子解体に成功しなければ、いつになっても樹木(木材)であり、植物を基盤資源とする脱石油社会など夢物語です。しかも、単純な物質の混ざり物である石油とは違い、樹木はその上流に位置する構造をもった分子複合体です。生物平衡を乱すことなく、いかにその仕組みを解きほぐし、複合体から分子素材レベルまで多段階に活用するか…。生態系において植物に従属する人間にとって、これは究極のバズルともいえるロマンに満ちあふれた課題です。

森林を制御する ～究極の職人を育成する～

船岡研究室では、熱も圧力も加えることなく、そして構成分子の特性を破壊することなく、樹木を高機能分子素材へと完全変換する独自の手法を開発しました。この成功により、これまで異なるフィールドと考えられてきた森林(林業)と化学工業が、物質とエネルギーで明確に結ばれたのです。

また、生態系を分子レベルで動的に精密評価できる新しいセンサと技術を身に着けた人材育成を行うと共に、世界の生態系にベストマッチする新しい分子循環システムを個別にデザインし、そして生態系を構成する物質の特性と役割を解析し、それが最大に生きる機能材料へと精密に転換する技術開発を教員、学生一同皆熱い思いで行っています。



環境省

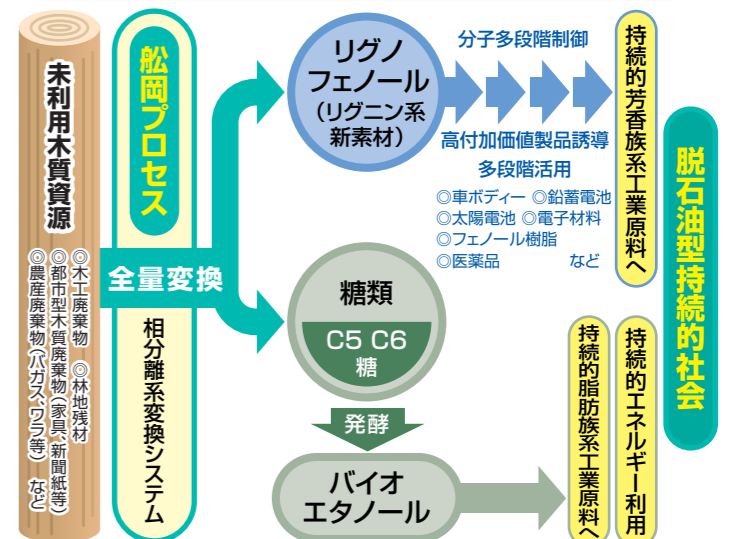
平成23～25年度

「地球温暖化対策技術開発等事業」
バイオマス循環資源低炭素化技術開発分野領域
ーグリーンイノベーション推進実証研究領域ー

「相分離変換法を用いた
木質バイオマスの全量
活用型低コストエタノール
製造技術実証研究」

環境省では、早期に実用化が必要かつ可能なエネルギー起源二酸化炭素の排出を抑制する技術開発及び実証研究を実施しています。
本取組は、相分離系変換システムを用いて木質系バイオマスからエタノールおよびリグノフェノール生産を行う実証研究です。木質系バイオマス廃棄物や放置間伐材など未利用資源を原料とし、三重大学で開発された「相分離系変換システム技術」を用いて常温常圧下で迅速に全量を糖質とリグノフェノール（リグニン系新素材）に精密分離し、C5C6糖混合原料から直接発酵によりバイオエタノールを製造、同時にリグノフェノールを高付加価値工業原料として提供することにより、エタノール生産コストを抑制、脱石油型持続的社会的の早期実現を目指しています。

◎ 実証研究の概要 ◎



特別経費(プロジェクト分)
高度な専門職業人の養成や
専門教育機能の充実

平成23～25年度

「世界に通用する
高度専門産業
人材養成のための
大学院教育改革」

ーコースワーク教育の国際化と新展開ー

産業界、学生、社会からのニーズに答えて、国際感覚を有する産業人材養成は急務となっています。本事業では、国際化カリキュラムの開発、学生の国際会議発表、海外留学、国際インターンシップ等による海外現場体験機会の増加、海外大学との学術協定の拡大を通じた学内の国際化と世界に通用する国際性豊かな人材育成を目指しています。

◎ 世界で通用する人材養成を目指した6年一貫国際化教育カリキュラム ◎

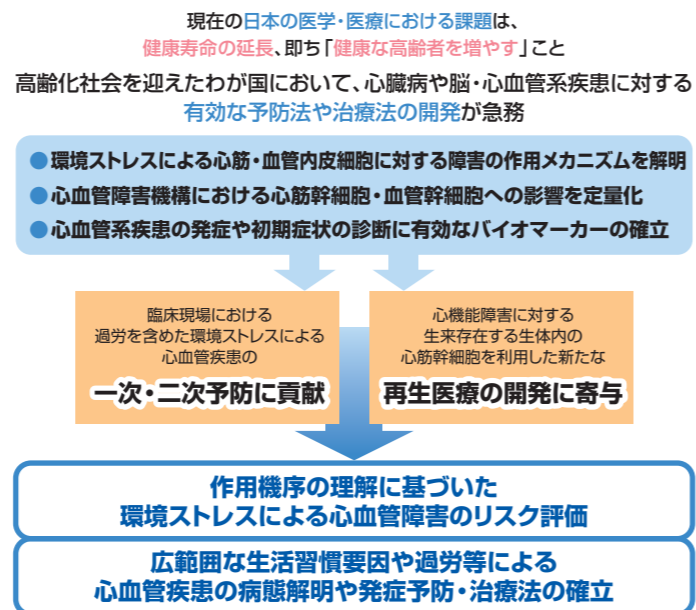
学部1・2年生	学部3年生	学部4年生	修士1年生	修士2年生
共通教育英語科目	選択専門英語	必修専門英語	選択必修国際化教育科目	
英語 I 大学基礎 英語 I 英語会話 英語 I TOEIC 上級英語	理系英語科目	英語会話科目	英語演習 I-V 海外連携大学 Skype-Lecture	国際会議発表 国際インターンシップ 海外留学
特任教員による英語教育				2年修了
海外先進大学等との国際交流の充実				
パリ工芸大学 (フランス) サポア大学 (フランス) ル・マン高等学院 (フランス) パレンシア州立工芸大学 (スペイン) カーディフ大学 (イギリス) カリフォルニア大学・アーバイン校 (アメリカ) (財)クリーブランドクリニック (アメリカ)		★国際インターンシップ ★短期留学 ★国際シンポジウム ★国際共同研究		

平成22～25年度

「環境ストレスによる
心血管系障害に対する
予防システムの確立」

高齢化社会を迎えるわが国において、心疾患や血管系疾患に対する有効な予防法や治療法を開発することは急務です。環境化学物質や放射線を含めた環境ストレスによる心臓や血管に対する影響を検討し、環境ストレスによる心血管系障害の作用メカニズムを解明します。さらに、環境ストレスに対する個人差や感受性の差にも注目し、ヒト集団を対象とする疫学研究を実施します。将来の循環器疾患の病態解明や発症予防・治療法の確立に寄与し、現在の課題である医療費の削減や元気で活力のある高齢化社会の実現にも貢献します。

◎ 研究概要とその波及効果 ◎



文部科学省等支援プログラム

最先端・次世代研究開発支援プログラム

平成22～25年度

「マラリア原虫
人工染色体を用いた
革新的耐性遺伝子
同定法の確立と応用」

地球規模での薬剤耐性マラリア原虫問題を解決するために、独自に作製した「マラリア原虫人工染色体」を使って迅速かつ簡便な薬剤耐性遺伝子同定法を開発し、未知の耐性遺伝子を同定することを目標とした研究を進めています。薬剤耐性遺伝子が発見されれば、これを指標とした診断技術・薬剤耐性マラリア原虫のサーベイランス技術の開発が可能となり、耐性原虫の分布拡大を強力に阻止できます。また薬剤耐性遺伝子の機能解明は新規薬剤の開発に繋がり、新たな抗マラリア戦略の創造が期待されます。

◎ マラリア原虫人工染色体を用いた革新的耐性遺伝子同定法の確立と応用 ◎



特集 学ぶ・育む「X」プログラム

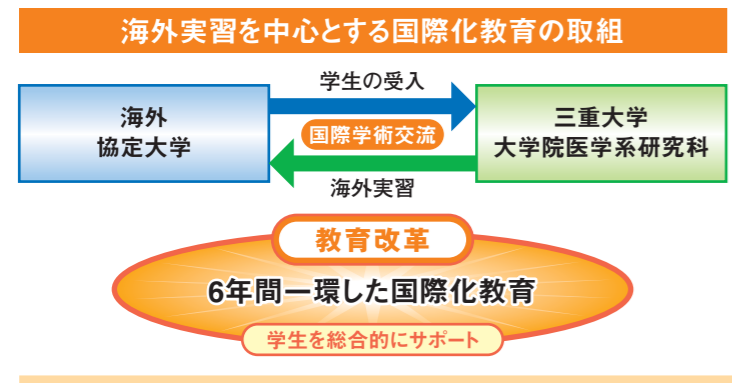
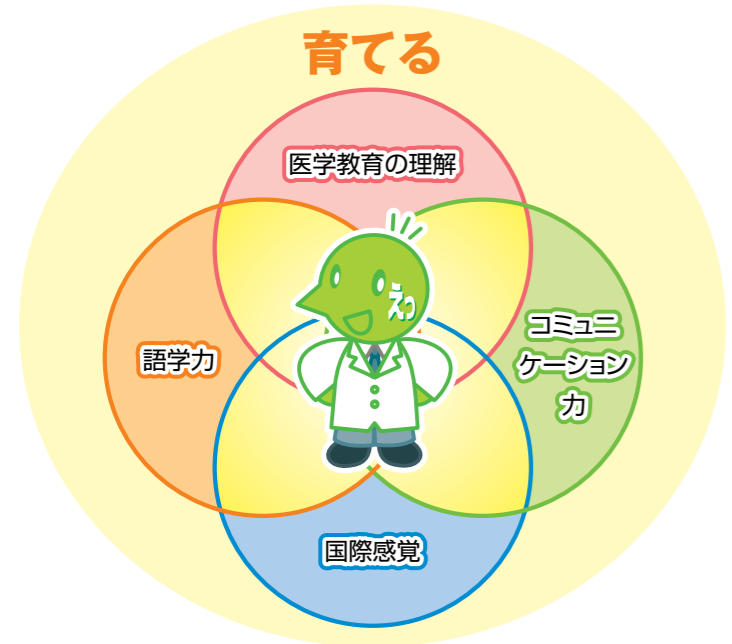
保健医療の国際化に対応する医学教育

「文部科学省 平成21年度 大学教育・学生支援推進事業 テーマA『大学教育推進プログラム』」

国際的な教育環境で国際感覚を持つ医療人を育成

国境を越えて伝播する感染症に対する国際協調、発展途上国への医療支援、医療技術革新の国際競争など、医療ニーズ国際化に対応できる人材の養成は、医学教育の新しい課題です。

平成21年に採択された本取組は、医学部第6学年次の海外臨床実習に連動する教育カリキュラム全体を通じた国際化教育を実現し、国際保健医療の現場で活躍する人材、国際感覚を持って地域医療に貢献する人材養成を目指します。



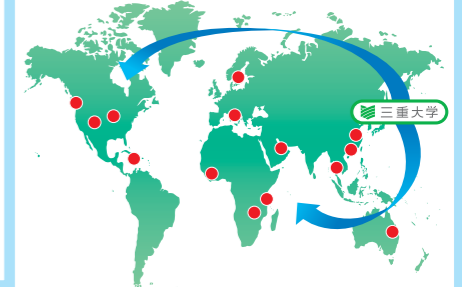
医学科教育カリキュラム

- 2本の柱**
- 体系的な国際保健医療教育
 - 実践的語学教育

連動

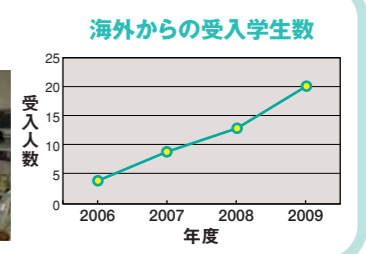
海外臨床実習

海外臨床実習先



- 米国：ニューメキシコ大学 ウェイン州立大学 ワシントン大学
- ザンビア：ザンビア大学
- タンザニア：ムヒンビリ健康科学大学
- ガーナ共和国：ガーナ大学
- アラブ首長国連邦：シャルジャ大学
- スウェーデン：イエーテボリ大学
- イタリア：ベルギア大学
- タイ：コンケン大学
- ラオス：保健科学大学
- 香港：香港中文大学
- 中国：上海交通大学
- オーストラリア：フリントマス大学
- ドミニカ共和国：イベロアメリカン大学

	第1学年	第2学年	第3学年	第4学年	第5学年	第6学年
体系的国際保健医療教育	海外医療現場での体験		海外臨床実習			
	<ul style="list-style-type: none"> ● エチオピア：JICAプロジェクト ● タイ：コンケン大学 ● 米国：ペンシルバニア大学 ● 米国：ワシントン大学 		<p>保健所見学 村でのヘルスボランティアの会合への参加</p>			
	体系的国際保健医療教育講義 (共通教育・総合教育科目「国際保健と地域医療」)					
教育環境の国際化	インターネットを用いた 海外からの講義・カンファレンス					
	外国語教育 実践的医学英語教育 <ul style="list-style-type: none"> ● 外国人教員の採用 ● ネット教材 ● 第1・2学年全員にコンピュータを貸出 			海外交流大学からの学生受入		
	<p>タデウス・ピーター・ドライジャ 三重大学大学院医学系研究科・助教</p>					
実践的英語教育	外国人教員の雇用、外国人留学生のティーチング・アシスタントとしての採用					
	少人数による医学英語教育・英語コミュニケーション教育	(研究室研修) 英語レポート	(チュートリアル教育) 英文課題	ベッドサイド英語教育		
			(臨床技能教育) 英語での診療録記載・英語でのプレゼンテーション	海外臨床実習準備教育 (自主学習)		



これなら海外臨床実習も大丈夫だね

本プログラムでは、専門英語教育改革、早期海外体験実習、体系的国際保健医療教育、教育環境の国際化に取組み、6年間継続して専門語学能力を高め、国際的な広い視野を養成することができるカリキュラムを達成しました。これまでに実施してきた海外臨床実習と連動した三重大学の特色ある教育になっています。

堀 浩樹
三重大学大学院医学系研究科・教授

社会連携研究センター 新産業創成研究拠点

研究の事業化や人材育成を目指した戦略的な産学共同プロジェクト研究の実施拠点です。

3/23 WED

工学部
建築学科棟横



開所式

共同研究を通じて
若手研究者や院生が
育つといいね



新しい施設がぞくぞくと
オープンしています!



男女共同参画推進室



看板上掲式

教育実践
総合センター
1階 4/1 FRI

三重大学では、これまで積極的な推進活動をしてきましたが、更に企画・支援・実行する実動組織として男女共同参画推進室を立ち上げました。



開所式

三重大学 連携室

尾鷲市庁舎
地下会議室内
三重大学と尾鷲市のよりいっそうの相互発展につなげていくため、尾鷲市庁舎内に連携室が開所されました。

課外活動共用施設

3/28 MON

陸上競技場横

太陽光発電や壁面緑化で、既存施設を見直し、学生が積極的に利用できる開放的な環境を確保しました。



全6種類のツタの葉が、壁を緑で覆いつくすよ



改修後



太陽光パネル



開所式



洗面台



和室

社会連携研究センター 研究展開支援拠点

3/23 WED 講堂横

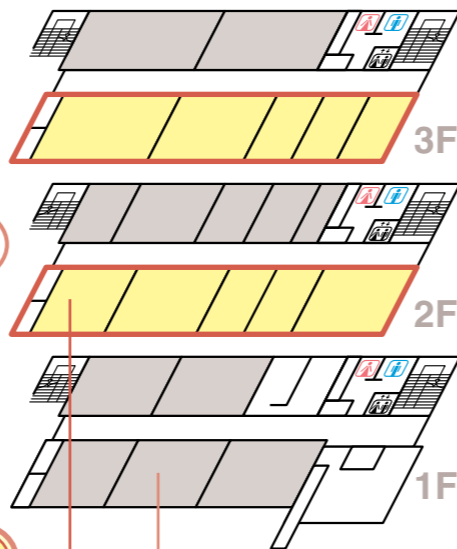
「みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点」と一体となり共同利用機器を活用した学内外の研究開発支援と人材育成の拠点です。



この建物には
食品を分析する機械が
たくさんあるんだよ



におい識別装置



地域研究支援部門

設置されている分析機器及び研究室を学外者も利用できる部門です。みえ“食発・地域イノベーション”の創造拠点にもなっています。

機器分析部門

学内共同の分析・計測機器が設置され、学内者が利用できる部門です。

みえ“食発・地域イノベーション”創造拠点

～三重大学食品素材探索ラボ～



三重県は古来より「美し国(うましくに)」と呼ばれ、山海の多様な天然資源に恵まれています。



産学官連携
プロジェクトを立ち上げる

地域企業 三重大学 地方自治体

三重の
天然資源を活かした
新製品!

食品・添加物
としての
分析や評価

翠陵会館

4/4 MON 図書館横

店舗を拡大し、商品の配置を変えて、混雑を少なくしました。



店内の窯で
焼いているよ



ドリンクも!



お菓子も!



文具も!



書籍も!



4月

白衣授与式及び優秀学生表彰

医学科新5年生104名が出席し、荘厳な雰囲気の中で行われました。



三重大学ブランド3点を新開発

日本酒やバウムクーヘンなど新たに3商品が開発されました。



平成23年度入学式

学部生1,384名、大学院生484名、専攻科14名、編入学生85名、合計1,967名を迎えて行われました。



レーモンドホールの特別公開及び三翠会館の一般公開

三重大学の二つの国登録有形文化財、レーモンドホール及び三翠会館(旧三重高等農林同窓会館)の特別一般公開が行われました。



アントニン・レーモンド氏の設計だよ!

「美(うま)し国おこし・三重さきもり塾」第二期生入塾式

特別課程生13名、入門コース生49名の計62名が入塾しました。



日本脊椎脊髄病学会のVisiting Scholar Programにおける研究員に選出

医学系研究科の笠井裕一教授がミャンマーの脊椎手術支援への貢献により選出されました。

鈴鹿市立鼓ヶ浦小学校キャンパスツアー

3年生、4年生の児童66名が本学に遠足に来ました。



5月

クールアクション 始めました!

昼休みの一斉消灯、エコタップの使用、夏休みの連続取得の実施、ノーマーカーデーの推進、ノージャケット・ノーネクタイのクールビズなどのクールアクションを始めました!



三重大学教員が協力した亀山デジタル市史が完成

本学人文学部山中 章教授指導の下、立体画像が飛び出し、音の出る日本初のデジタル市史を8年かけて作成しました。

災害派遣活動中の自衛隊員へのビデオレター収録に協力

三重大学体育会応援団とよさこいサークル「天狗う」が、激励演舞及び激励メッセージを送りました。



亀山市寄附講座設置協定書調印式

地域の住民に健康で安心できる生活を提供する医療保健体制に関する研究・教育を行います。



森田松之介さん、リヤカーで日本縦断達成

教育学部体育学専攻の森田さんが、たこやきを売りながら、リヤカーで北海道から沖縄までの4200キロ縦断に挑戦し、9か月の一人旅を完遂しました。



6月

少年警察学生ボランティア委託式

本学の学生25名が「少年に手を差し伸べる立ち直り支援活動」を効果的に推進するための「若櫻(わかがし)サポーター」として三重県警から委託されました。



日独友好150周年記念企画「日独で考える21世紀の社会保障」

パネル展を講堂で開催し、ドイツ大使館よりクラウス・アイルリッヒ参事官、厚生労働省より朝川知昭政策企画官をお迎えして記念シンポジウムも開催されました。



東芝・西田厚聡会長講演会「グローバル化と日本」・公開シンポジウム「三重から地域発イノベーションを考える」

学生を中心とした教職員、一般企業人約1000名の参加がありました。また、講演会後には、「三重からの地域発イノベーションを起こすには?」をテーマにパネルディスカッションが行われました。



大吟醸梅酒「三重大学」作り、はじまる

三年目を迎える梅酒作りが栗真中山町「寒紅梅酒造」で行われ、今年は、青梅と完熟梅で3パターンの梅酒を作ります。



県内初の脳死肝臓移植に成功

医学部附属病院にて、脳死判定された60歳代男性の肝臓を、C型ウイルス性肝硬変の50台男性に移植する手術に成功しました。

宇宙大豆を相可高校生が受け継ぐ

生物資源学研究科の梅崎輝尚教授が三重大学で栽培した大豆が国際宇宙ステーション日本実験棟「きぼう」から帰還し、宇宙大豆として相可高校生に託されました。

思いで戻し隊・みえ in 三重大学

東日本大震災の被害により汚損した貴重な思い出の品々を、本学学生がきれいにし、持ち主に戻す活動を行いました。



開胸せずに心臓手術が可能に

心臓の右心房と左心房の間に生まれつき穴が開く「心房中隔欠損症」治療のため、カテーテルを使う手術に県内で初めて成功しました。



三重大学学生が近鉄とコラボしてツアーを企画

人文学部法律経済学科の学生が企画「三重大生と行く「宿題列車 志摩の自然☆マリン体験学習」ツアーを企画しました。

文部科学省「大学産学官連携自立化促進プログラム」環境セミナー開催

環境省事務次官の南川秀樹(みなみかわ ひでき)氏をお迎えし、講演会や、環境ISO学生委員会を中心とした学生との対談が行われました。



環境情報科学館安全祈願祭

本学に新しい施設が誕生します。



講演会「ハワイの音楽療法事情と日本への発展 パラダイスの青少年を救う」が開催

ハワイでの音楽療法を事例に、梶原恵子氏・大竹孔三氏(米国音楽療法協会認定音楽療法士)に講演いただき、日本での現状と比較した活発な議論が行われました。



7月

七夕講演会

教育学部多目的ホールにて教育学部:伊藤信成准教授による七夕講演会が行われました。約30名の参加者は伊藤准教授による織姫星のお話に熱心に耳を傾けていました。



C.W.ニコル氏講演会

講演会とともにC.W.ニコル氏・鈴木英敬三重県知事・内田淳正学長による鼎談(司会:朴 恵淑理事・副学長)や省エネルギーアイデア賞授賞式、学生発表などもあり、約500人が参加して大いに盛り上がりました。



三重のピカ1

株式会社 花匠

新シリーズ
三重県に本社のある企業の
ピカ1商品を紹介しします。



ピカ1 七の花せんべい

伊賀を元気に!

2010年秋、(株)花匠は一般流通にはほとんど出回ることがない貴重な伊賀産エクストラバージン菜種油「七の花(なのはな)」を使用した「七の花せんべい」を商品化しました。菜種油「七の花」は三重大学と伊賀市と企業とが連携した、「伊賀市菜の花プロジェクト」で生産されたものです。国内で唯一その油を100%使った「七の花せんべい」は伊賀を元気にしたい!という想いが生んだ一品で、米の粒が入った生地

の香ばしさと、「七の花」のコクと甘みがとてもマッチしています。



こだわって作ってますからっ

開発の段階で三重大学も協力し、焙煎した七の花オイル、生搾りの七の花オイル(エクストラバージンオイル)、通常味付けに使われているサラダ油の3つの油の酸化スピードを調べました。結果、通常使用されているサラダ油と比べ焙煎オイルは酸化が早く、生搾りの七の花オイルについては遜色ないという結果が出ました。生食用として評価の高いこのオイルを使用した事でこれまでにない旨味たっぷりのおせんべいが生まれました。

SPOT.....

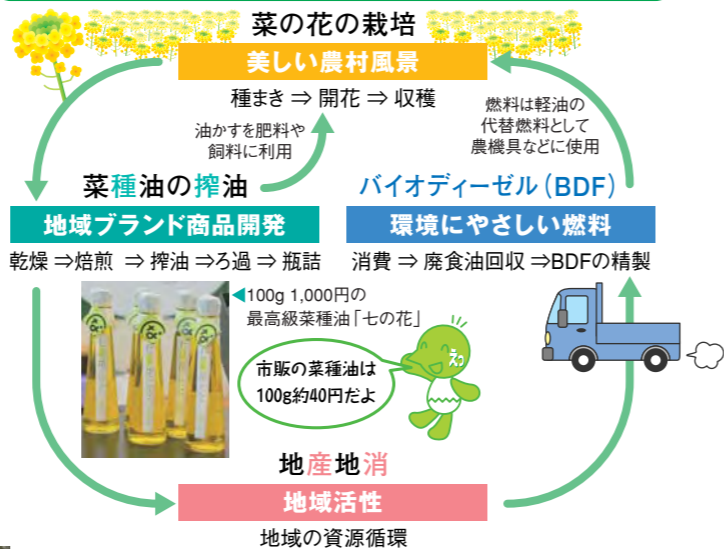
~お米の国のお菓子「おせんべい」。その魅力を引き出し、花のように咲かせたいという想いから花匠は生まれました。~

創作せんべい工房



所在地/〒518-0809
三重県伊賀市西明寺中尾谷2313
代表者/代表取締役社長 鈴木克幸
事業内容/菓子の企画販売
企業理念/みんなの笑顔のために
【URL】http://www.rakuten.co.jp/hanasho/index.html

伊賀市菜の花プロジェクトとは



花のような笑顔に

新しいおせんべいの切り口を模索し、「従業員もお客さまもみんな笑顔になってほしい」という理念のもと、伊賀産菜種油を使って「地産地消」に参加している「花匠」。今後は伊賀産のゴマやベニバナから作ったオイルを用いた煎餅を開発し、「伊賀が活性化するひとつのキッカケになればいい」と考えているそうです。これからも「美味しいモノづくり」、頑張ってください。



永井 レポーター

他にも楽しい煎餅がいっぱいのお花匠さん! 今回の取材でお煎餅の魅力を再発見できました!

永井 鷹創(三重大学生物資源学部 生物園生命科学科 1年)

CLUB CIRCLE.....

アーチェリー部

活動は
毎週月曜日・水曜日・木曜日 16:30~18:00
毎週土曜日 9:00~12:00
活動場所/アーチェリー場

こんにちは、アーチェリー部です。皆さんはアーチェリーという競技を知っていますか?アーチェリーとは男子で最長90m、女子で最長70m先にある的にめがけて矢を放つ競技です。現在、部員数は男子24人、女子9人で3月にある全日本学生アーチェリー王座決定戦出場を目標に活動しています。夏にはプールやキャンプに行ったり、冬にはスキー旅行に行くなど様々なイベントもあり、部員が多いこともあってにぎやかに活動しています。珍しい競技なので馴染みは薄いと思いますが、興味のある方は是非見学に来てください!場所は大きな風車



代表 羽尾 祐輝
(人文学部法律経済学科 3年)

【URL】http://www10.atpages.jp/youkyuubu/NEWtop.htm

クラブ・サークル

ジャグリングサークル「ジャグリアーノ!」

活動は
毎週水曜日・金曜日 14:30~19:00
毎週日曜日 14:00~18:00
活動場所/講堂前(雨天時は講堂裏)



こんにちは、ジャグリングサークル「ジャグリアーノ!」です。現在、私たちは1年生から3年生まで男女合計85名で活動しています。「ジャグリアーノ!」は2年前にできたばかりの新しいサークルで、メンバーの9割以上が大学に入ってからジャグリングを始めました。男女比は2:1です。

「ジャグリング」とはいわゆる大道芸!たった5分で人を「おおー!」と言わせる技を習得でき、必死にやるというものではなく、遊んでいるうちに上手くなれます(笑)。私たちと一緒にジャグリングをやってみませんか?詳しくは以下のホームページをご覧ください。演技動画やPVもあります!出演依頼も受け付けています!

ジャグリング道具は十数種類!



代表 亀井 大輝
(工学部電気電子学科 3年)

【URL】http://sky.geocities.jp/juggliano/

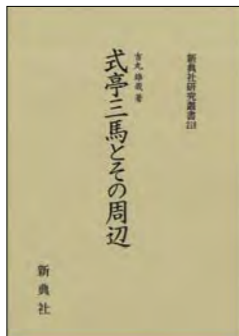
本の紹介



『明治・大正の日中文化論』

本書は、比較文化学の視点から明治・大正の日中文化論を考察したものです。日中比較文学論、日本論・中国論の二部構成で、魯迅、岡倉天心、内藤湖南等を扱いました。モダニティ=近代について『現代中国とモダニティ』（代田智明著、三重大学出版会）同様、注視しています。

単著／藤田昌志（国際交流センター・准教授）
定価／2,400円（税別）
発行／三重大学出版会
ISBN／978-4-903866-05-5



『式亭三馬とその周辺』

本書は、『浮世風呂』、『浮世床』といった滑稽本の執筆で知られる、江戸の戯作者式亭三馬の文事を中心に、江戸戯作がいかなる系統のもとに成立しているのか、あるいは職業的な戯作者であることは何を意味するのか、解き明かしています。

単著／吉丸雄哉（人文学部・教授）
定価／8,200円（税別）
発行／新典社
ISBN／978-4-78794218-0



『マンガ整形外科疾患55 (Go!Go!)』

整形外科の主要な55疾患について、それぞれの疾患の特徴をマンガでコミカルに（ときにホロッと）描きました。整形外科のエッセンスを知りたい医師やナースはもちろん、医療関係者以外の方にも是非読んでいただきたい本です。

単著／笠井裕一（医学系研究科・教授）
定価／1,600円（税別）
発行／メディカ出版
ISBN／978-4-8404-3672-4

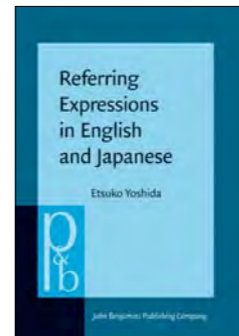


『社会教育・生涯学習 一学校と家庭、地域をつなぐためにー』

子どもの学ぶ意欲や家庭・地域の教育力の低下などに対し、「社会教育・生涯学習」からの支援が求められているなかで、本書は歴史背景とともに、現代的課題から法令、行政と職員の役割、事業の企画立案と運営のヒント、実践事例までを網羅しています。

単著／宮崎冴子（共通教育センター・特任教授）
定価／2,100円（税別）
発行／文化書房博文社
ISBN／978-4-8301-1207-2

本の紹介



Referring Expressions in English and Japanese: Patterns of use in dialogue processing

対話することは、私たちの最も身近な伝達手段です。本書では指示表現という言語現象に注目し、対話コミュニケーションのしくみの一端を明らかにすることを目指しています。日英語の自然発話データをもとに、対話の話題が共有されていく過程を言語学的に分析・考察しました。

単著／吉田悦子（人文学部・教授）
定価／EUR 90.00 / USD 135.00
発行／John Benjamins (Pragmatics & Beyond New Series 208)
ISBN／978-90-272-5612-6



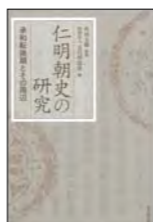
『原子吸光分析 分析化学実技シリーズ [機器分析編・5]』

共著／太田清久（工学研究科・教授）
金子 聡（工学研究科・准教授）
定価／2,900円（税別）
発行／共立出版
ISBN／978-4-320-04395-4



『法学部生のための 選択科目ガイドブック』

共著／田中亜紀子
（人文学部・教授）他
定価／2,800円（税別）
発行／ミネルヴァ書房
ISBN／978-4-623-06009-2



『仁明朝史の研究 一承和転換期とその周辺ー』

共著／山中 章
（人文学部・教授）
定価／7,000円（税別）
発行／思文閣出版
ISBN／978-4-7842-1547-8



『故国遥かなり 一太平洋を渡った里き・源吉の手紙』

編集／里き・源吉の手紙を読む会
編著／川口祐二・吉村利男
（附属図書館研究開発室・客員教授）他
定価／2,000円（税別）
発行／ドメス出版
ISBN／978-4-8107-0750-2



『臨床病理レビュー 特集第147号 DIC ～とびらを拓く第三世代へ～ 第一世代 第二世代 そして… 培った実績を活かす第三世代』

監修／和田英夫
（医学系研究科・教授）
定価／3,400円（税別）
発行／臨床病理刊行会
ISSN／13459236



『統計から見た 大正・昭和戦前期の民事裁判』

編著／田中亜紀子
（人文学部・准教授）他
定価／14,000円（税別）
発行／慈学社出版
ISBN／978-4-903425-66-5



『太宰治研究 19』

共著／尾西康充
（人文学部・教授）
定価／7,000円（税別）
発行／和泉書院
ISBN／978-4-7576-0591-6



『東アジア都市の比較研究』

共著／山中 章
（人文学部・教授）
定価／8,400円（税別）
発行／京都大学学術出版会
ISBN／978-4-87698-990-4



『ダーウィンの世界 一その歴史的・現代的意義ー』

共著／小川眞里子
（人文学部・教授）他
定価／1,800円（税別）
発行／日本学術協力財団
ISBN／978-4-9904989-1-7



『春秋 第33号』

「春秋」は三重大学退職教員有志の組織「三重大学春秋会」の機関誌（年刊）です。会員に配布した残部が少しあり、ご希望の方には（価格800円＋送料）で販売できます。

目次
三重大学の法人化と地域連携に關して……渡邊 徹
旅のスケッチブックー最近の三重大学キャンパスを探るー 藤城 郁哉
戦争と戦った三重の人びとー遠くでかすかに鐘が鳴るー 酒井 一
総合医療効用の再認識……大西 和子
学生の就業支援活動を振り返って……五十君 清司
教育と研究ー最近の定年・退職事情（定年・退職教員の活用?について）ー 社内河 敏彦
昨年の新型インフルエンザ騒ぎはどうなった?……川村 壽一
ニュージーランド語学研修旅行記……今尾 雅博
ゴルフ審判記……新明 正弘
御岳周辺の登山日記より……堀 場 義平
われ徒然に思う……水谷 四郎
退職後2年目の日暮りーアイテール雑考ー……山下 護
Retireeのツイッター……阿部 勲
喜寿を迎えた好奇好齢者の退官タイ在生活……梅林 正直
スキー行……熊澤 善三郎
西方考ー西方氏を探る旅ー……菅原 庸

【問合せ先】三重大学出版会
電話・ファクス／059-232-1356
メールアドレス／mpress@bird.ocn.ne.jp
問合せはなるべくメールアドレスをお願いします。
第32号以前についても、残部のある号についてはご希望に応じます。



『歴史教育とジェンダー 教科書からサブカルチャーまで』

共著／小川眞里子
（人文学部・教授）他
定価／1,600円（税別）
発行／青弓社
ISBN／978-4-7872-3324-0



『触媒調整ハンドブック』

共著／石原 篤
（工学研究科・教授）他
定価／61,600円（税別）
発行／エヌ・ティー・エス
ISBN／978-4-86043-377-2



『異相の時空間 ーアメリカ文学とユートピアー』

編著／井上稔浩
（人文学部・教授）
定価／3,400円（税別）
発行／英宝社
ISBN／978-4-269-73004-5



『英語教育への新たな挑戦 ー英語教師の視点からー』

共著／吉田悦子
（人文学部・教授）他
定価／3,000円（税別）
発行／英宝社
ISBN／978-4-269-64012-2

教員表彰

平成23年度 日本農学賞・読売農学賞 (2011.4.28)

生物資源学研究所
名誉教授 久能 均



わが国の農業技術の発展に対する
顕著な貢献が認められました。

受賞者	受賞名(受賞日)
医学部附属病院 医員 高木健裕	第13回アレルギー・気道上皮細胞研究会賞 (2010.12.4) 【受賞演題名】 「マウス喘息モデルに対するトロンボモジュリンの効果」
工学研究科 准教授 金子 聡	Development of Renewable Hydrogen and Carbon Sequestration Technologies for Sustainable Environment, Research Award from Tati University College, Malaysia (2011.3.1)
工学研究科 教授 石原 篤 他5名	平成22年度 石油学会 論文賞 (2011.5.17)
知的財産統括室 助教 八神寿徳 他1名	2010年度 粉体工学会 APT賞 (APT Distinguished Paper Award) (2011.5.25)
医学部附属病院 医員 村田泰洋	日本肝胆膵外科学会 理事長賞 (2011.6.9)

平成23年 春の叙勲受章者

瑞宝中綬章(教育研究功労)

名誉教授・人文学部
森田 勉(もりた つとむ)

「瑞宝章」は
公共的な業務に
長年従事して功労を
積み重ねた人に
贈られるんだよ



長年にわたり、法学的分野において三重
大学人文学部の発展に多大な貢献をされました。

伊賀北ライオンズクラブから感謝状



三重大学吹奏楽団

■ 2011年4月24日

吹奏楽団では、当クラブの依頼により、毎年10月に伊賀の
中学生を対象に音楽の指導や合同合奏を行っています。
その長年の活動に対して、このほど感謝状が授与されました。

学生表彰

日本消化器病学会東海支部 第110回例会
日本消化器病学会専修医奨励賞
(2010.1.1)



医学系研究科(博)3年 松下航平
(楠 正人 教授)

第65回日本消化器外科学会総会
ポスター優秀演題賞
(2010.7.16)



医学系研究科(博)2年 川村幹雄
(楠 正人 教授)

平成22年度 電子情報通信学会東海支部
卒業研究発表会 優秀賞
(2011.3.9)



工学研究科(修)1年 成田 了
(若林哲史 准教授)

第8回 日台文化交流 青少年スカラシップ
作文の部 奨励賞と佳作
(2011.3.22)



人文学部 2年 嶋崎愛実(奨励賞)
人文学部 2年 村田隼規(佳作)
(田中亜紀子 准教授)

2011 American Transplant Congress
Young Investigator Travel Award
(2011.4.30)

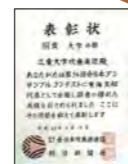
医学系研究科(博)4年 信岡 祐
(伊佐地秀司 教授)

※()内は指導教員
学年は受賞当時

クラブ・サークル表彰

吹奏楽団
「ホルン四重奏」
第34回全日本アンサンブルコンテスト
銅賞 (2011.3.19)

及能敬勝、里中友香、鈴木友子、村松佐奈枝



東海地区の
代表として参加
したよ!



附属病院から

三重県地域がん登録室が設置されました。

三重大学医学部附属病院では三重県地域がん登録事業の開始にあたり県の
委託を受けて“三重県地域がん登録室”を病院内に立ち上げました。

地域がん登録とは？

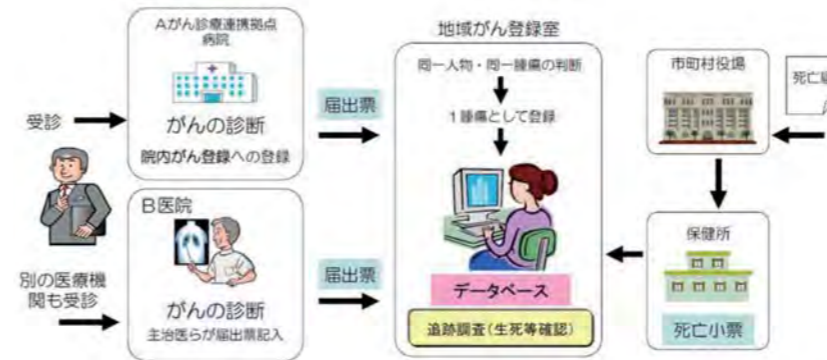
一定地域に居住する人口集団において発生したすべてのがん患者を把握し、その診断、
治療に関する情報、ならびに予後情報を集め、保管、整理、解析すること。

- ① 地域におけるがん罹患数を全て把握する
- ② がん罹患率を計算する
- ③ 全登録がん患者の生存状況を追跡する
- ④ 地域の中全患者の生存率を計測する
- ⑤ 地区別・性別・年齢別・部位別・進行度別に算出

➡がん予防の効果を評価

➡がん検診と医療の効果を評価

すでに全国39道府県で実施されており、
2年後には、全国すべての地域で行われる予定です。



がん登録における
個人情報の扱いは
大丈夫？

えっ

適正かつ
安全に管理されるので、
安心ですよ。

- ① 登録室への入室者の制限
- ② 取扱う職員の限定
- ③ 登録室及び書類保管庫等の施錠管理
- ④ 個人情報を保有するコンピュータの外部接続の禁止

学務部就職支援チームから

平成22年度新卒者の就職状況に
ついてご報告いたします。

全国の国公私大の平均就職率が
91.1%と低迷する中、
三重大学の就職率は…

96.3%

※就職率は、就職者数/就職希望者数×100により算出
(四捨五入により少数第1位まで表示)

■平成22年度新卒者の就職状況調査表(就職者数)

平成23年5月1日現在

学部学科別	卒業生数(人)			就職希望者数(人)			就職者数(人)			就職率(%)		
	計	男	女	計	男	女	計	男	女	計	男	女
人文学部	308	116	192	266	97	169	253	95	158	95.1	97.9	93.5
教育学部	235	97	138	199	74	125	193	71	122	97.0	95.9	97.6
医学部医学科	94	76	18	0	0	0	0	0	0	—	—	—
医学部看護学科	89	4	85	84	4	80	83	3	80	98.8	75.0	100.0
工学部	425	369	56	159	129	30	157	127	30	98.7	98.4	100.0
生物資源学部	248	139	109	139	67	72	130	65	65	93.5	97.0	90.3
合計	1,399	801	598	847	371	476	816	361	455	96.3	97.3	95.6

夏季休業

三重大学における夏季一斉休業について

三重大学(医学部附属病院を除く)では、平成23年8月12日(金)～17日(水)を一斉休業させていただきます。ご理解の程よろしく願います。



附属学校園から

附属幼稚園

■平成24年度入園希望の方へ

■平成24年度園児募集 募集要項等の交付期間

◎日時◎平成23年9月1日(木)～9月16日(金) ※土日を除く 9:00～12:00、13:00～15:00

■願書受付期間

◎日時◎平成23年10月3日(月)～10月12日(水) ※土日、祝日を除く 9:00～12:00、13:00～15:00

■入園のための説明会

◎日時◎平成23年9月22日(木) 14:00～15:00

■選考面接

◎日時◎平成23年10月24日(月)、25日(火)

※詳細については、お問い合わせ下さい。 ☎059-227-1711

■緑いっぱいの園庭で遊びませんか?

園庭を開放しています。

◎日時◎毎週月曜日と木曜日 13:00～17:00 (10月から月曜日は14:30からになります。)

◎その他◎事務室受付で名前を記入してから遊んでください。トイレは管理棟、昇降口の所をご利用ください。ゴミはお持ち帰りください。使った玩具等は必ず片づけてください。

看護師・助産師 募集



医学部附属病院では看護師・助産師の募集を随時行っています。大学病院で働いてみたい、病院を見て色々知りたいと思われた方は、お気軽に連絡ください。あなたの笑顔をお待ちしています。

【お問い合わせは】

三重大学医学部附属病院看護部

☎059-231-5183 又は ☎059-231-5184

市民開放授業

■平成23年度後期三重大学市民開放授業 受講生募集のお知らせ

三重大学では、本学が開講している正規の授業を市民等の皆様に学生とともに受講していただく三重大学市民開放授業を開講しております。募集要項等、詳しくはこちらをご覧ください。

URL <http://www.mie-u.ac.jp/neighborhood/extension.html>

◎開放授業科目◎

●人文学部……………ドイツの言語D、ドイツ語学演習D、自然環境論B、日本考古学特講B

●教育学部……………現代社会の課題と国民的教養、教育社会学、教育と福祉、被服実習I、被服構成学

●工学部……………電磁気学II及び演習、計算機言語、量子力学I

●生物資源学部……………森林微生物機能学、景観設計論、環境経済学、植物病害制御学、微生物利用学、流域保全学、食料生産システム学、生物機能化学

●国際交流センター……………文法・読解2B(Grammar/Reading2B)、入門日本語(Introduction to Japanese)

●共通教育センター……………比較政治文化、東洋史II、ドイツ語II講義、建築・技術・人間—防災論、ドイツ語I基礎(後)、ことばと文化、英語III TOEIC中級、Area Studies:Vietnam B、英語IV TOEIC上級、キャリアプランニング、ドイツ語I演習(後)、日本史II

◎募集定員◎1科目2人～上限なし(授業科目により異なります。)

◎受講料◎1科目9,400円(一部の科目11,500円、13,500円)

◎受講資格◎授業内容が理解できる方(受講希望者ご自身の判断に委ねます。)

◎受講申込受付期間◎平成23年9月1日(木)～9月7日(水)(平日9:00～17:00)

◎問い合わせ先◎三重大学学務部教務チーム(☎059-231-9054)、または三重大学各学部学務担当等(募集要項参照)

◎その他◎平成24年度前期三重大学市民開放授業の開放授業科目、募集定員、受講申込受付期間等については、平成24年2月下旬頃、本学のホームページ等によりお知らせしますので、受講を希望される方はご応募くださるようお願いいたします。

公開講座・シンポジウムなど

■三重大学医学部附属病院がんセンター 市民公開講座

■知ってほしいがんに対する放射線治療

◎講師◎不破信和(南東北がん陽子線治療センター長) 山門亨一郎(三重大学医学部附属病院IVR科長) 他(予定)

◎日時◎平成24年2月25日(土) 13:00～16:00

◎会場◎三重県総合文化センター中ホール ◎定員◎950名

■?「発見塾」三重大学シリーズ 2011

◎問い合わせ先◎三重大学附属図書館/☎059-231-9032

■昭和という時代と旅行の経験

◎講師◎森 正人(人文学部・准教授)

◎日時◎平成23年7月23日(土) 13:30～15:00

◎会場◎津リージョンプラザ内 津図書館 視聴覚室

■日本人の靈魂観

◎講師◎山田雄司(人文学部・教授)

◎日時◎平成23年9月10日(土) 13:30～15:00

◎会場◎津市安濃町保健センター

■三角縁神獣鏡を科学すると日本の古代が見えてくる

◎講師◎宮崎照雄(生物資源学部・教授)

◎日時◎平成23年11月26日(土) 13:30～15:00

◎会場◎津リージョンプラザ2階 健康教室

■元気で長生きするために今できることは何か? —骨粗鬆症の予防と治療—

◎講師◎須藤啓広(大学院医学系研究科・教授)

◎日時◎平成24年1月28日(土) 13:30～15:00

◎会場◎津リージョンプラザ2階 健康教室

■伊勢参宮の立役者御師の屋敷を復元する

◎講師◎菅原洋一(大学院工学研究科・教授)

◎日時◎平成24年3月17日(土) 13:30～15:00

◎会場◎津リージョンプラザ2階 健康教室

■伊賀市文化フォーラム 2011

◎会場◎伊賀上野交流研修センター 第一研修室

◎受講料・定員◎無料・各約50名(申込み不要)

◎問い合わせ先◎三重大学附属図書館/☎059-231-9032

■第4回 「防災まちづくりと人材育成」

◎講師◎浅野 聡(大学院工学研究科・准教授/美(うまし)国おこし・三重さきもり塾副塾長) 平林典久(大学院工学研究科・特任助教/美(うまし)国おこし・三重さきもり塾)

◎日時◎平成23年7月30日(土) 14:00～15:45

■三重大学・鳥羽市・海の博物館文化フォーラム2011 「海女文化を活かす」

◎日時◎平成23年10月29日(土) 13:30～16:30

◎講師◎菅原洋一(工学部・教授)、塚本 明(人文学部・教授)、石原義剛(海の博物館館長・客員教授)

◎会場◎海の博物館

◎受講料・定員◎無料・100名 ◎受講対象者◎市民一般

◎問い合わせ先◎三重大学附属図書館/☎059-231-9032

URL <http://www.lib.mie-u.ac.jp/>

■三重大学・志摩市文化フォーラム2011 「大震災から学ぶこと」

◎日時◎平成23年11月16日(水)、30日(水)、12月14日(水) 時間未定

◎講師◎未定

◎会場◎志摩市阿児ライブラリー

◎受講料・定員◎無料・100名 ◎受講対象者◎市民一般

◎問い合わせ先◎三重大学附属図書館/☎059-231-9032

URL <http://www.lib.mie-u.ac.jp/>

■青少年のための科学の祭典2011 三重大学大会

◎日時◎平成23年11月19日(土)、20日(日) / 1日目 13:00～17:00 2日目 10:00～16:00

◎出展者◎大学教員、大学生、科学ボランティア、小中学校教員、企業他

◎会場◎三重大学講堂

◎受講料・定員◎無料・自由参加 ◎受講対象者◎児童、保護者、市民一般

◎問い合わせ先◎教育学部理科教育担当/☎059-231-9260または090-6616-9260

URL <http://sci.edu.mie-u.ac.jp/>

■第22回壬申の乱ウォーク「伊勢斎宮跡を歩く」

◎日時◎平成23年9月18日(日) 9:00～12:30 近鉄斎宮駅集合、解散

◎講師◎山中 章(人文学部・教授)

◎会場◎史跡斎宮跡～斎宮歴史博物館

◎受講料・定員◎無料・300人 ◎受講対象者◎市民一般

◎問い合わせ先◎人文学部伊勢湾・熊野地域研究センター 人文学部考古学研究室 山中 章/☎059-231-9148

■第14回「リフレッシュ理科教室」 東海支部三重会場「動く!光る!楽しい工作」

◎日時◎平成23年8月20日(土) 10:00～16:50(小中学生のための実験工作教室)

◎講師◎竹尾 隆(工学部・教授)、佐藤英樹(工学部・准教授)、

三宅秀人(工学部・准教授)、藤原裕司(工学部・准教授)

◎会場◎三重大学講堂小ホール

◎受講料・定員◎無料・午前60名、午後120名 ◎受講対象者◎小中学生

◎問い合わせ先◎藤原裕司(工学部・准教授)/☎059-231-9406/fujiwara@phen.mie-u.ac.jp

URL <http://www.ne.phen.mie-u.ac.jp/user/RefreshRika/>

■人文学部「公開ゼミ2011」

◎会場◎三重大学人文学部 ◎受講料・定員◎無料・各ゼミ20名

◎受講対象者◎市民一般 ◎申込み期間◎8月第1週～開講の5日前まで

◎問い合わせ先◎人文学部チーム総務担当/☎059-231-9195

URL <http://www.human.mie-u.ac.jp/>

①英文法の「謎」に迫る!

◎講師◎杉崎弘司(文化学科・准教授)

◎日時◎平成23年9月 夜間開講(予定)

②フランケンシュタイン入門

◎講師◎赤岩 隆(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年9月13日(火)、20日(火)、27日(火) 10:30～12:00

③企業および市民による組織的リスクマネジメントを考える

◎講師◎青木雅生(法律経済学科・准教授)、

麻野雅子(法律経済学科・教授)、後藤 基(法律経済学科・教授)

◎日時◎平成23年9月21日(水)、28日(水)、10月5日(水) 19:00～20:30

④男女共同参画とジェンダーを考える

◎講師◎小川真里子(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年9月27日(火)、10月4日(火)、11日(火) 19:00～20:30

⑤邪馬台国と伊勢湾の王達～船を駆使した独自勢力～

◎講師◎山中 章(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年10月1日(土)、8日(土)、15日(土) 10:30～12:00

⑥はじめての言語学:ことばのしくみ、意味、働き

◎講師◎小畑美貴(文化学科・講師)、澤田 治(文化学科・講師)、吉田悦子(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年10月17日(月)、24日(月)、31日(月) 13:00～14:30

⑦アダム・スミス『国富論』第5編を読む

◎講師◎森 俊一(法律経済学科・教授)

◎日時◎平成23年10月17日(月)、24日(月)、31日(月) 18:30～20:00

⑧ワーク・ライフ・バランスを学際的に考える

◎講師◎橋場俊展(法律経済学科・准教授)、

藤本真理(法律経済学科・准教授)、水落正明(法律経済学科・准教授)

◎日時◎平成23年10月17日(月)、24日(月)、31日(月) 16:20～17:50

⑨英語で自伝を読む

◎講師◎小田敦子(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年10月18日(火)、25日(火)、11月1日(火) 19:00～20:30

⑩日本人移民と日系社会

◎講師◎藤本久司(文化学科・准教授)

◎日時◎平成23年11月2日(水)、9日(水)、16日(水) 19:00～20:30

⑪現代の日本経済について考える～あるべき金融の姿を踏まえて～

◎講師◎野崎哲哉(法律経済学科・教授)

◎日時◎平成23年11月中旬～12月上旬(予定)

⑫ドイツのコミック事情

◎講師◎大河内朋子(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年11月11日(金)、25日(金)、12月9日(金) 13:00～14:30

⑬さまざまな絵画

◎講師◎藤田伸也(文化学科・教授)

◎日時◎平成23年12月1日(木)、8日(木)、15日(木) 10:30～12:00

⑭防災活動における住民との協力・協働体制

◎講師◎前田定孝(法律経済学科・准教授)

◎日時◎平成23年12月以降(予定)

■医学部「公開講座」

◎講師◎今井 寛(医学部附属病院・教授)、

丸山一男(医学部・教授)、辻川真弓(医学部・教授)

◎日時◎平成23年10月22日(土) 13:00～16:50

◎会場◎三重大学医学部 先端医学教育研究棟 2階 基礎第1講義室

◎受講料・定員◎無料・100名(先着順) ◎受講対象者◎市民一般

◎問い合わせ先◎医学系研究科チーム総務担当/☎059-231-5428

URL <http://www.medic.mie-u.ac.jp/>

二見街道 山田くさ合川



二見街道分岐点そばの道標



二軒茶屋から望む 勢田川下流(森が橋神社)



▲勢田川沿いの河崎問屋蔵



▶黒瀬公民館に移設された道標

三重大学附属図書館 研究開発室客員教授 吉村 利男



▲さ合川河畔の道標と神都線鉄橋の名残



▲二見街道と神都線概略図

お願い 三重大学振興基金へのご協力をお願いします

三重大学の目的・使命を達成する一助となることを目的に「国立大学法人三重大学振興基金」を設立しました。次の事業を計画しておりますので、皆様の温かいご支援・ご協力をお願いいたします。

- ◎学生への奨学金及び災害時の学資援助事業
- ◎学生の修学環境整備事業
- ◎学生・教職員の海外留学その他国際交流活動等への支援事業
- ◎地域貢献支援事業
- ◎その他本学の目的達成に必要な事業

●募金の方法●三重大学振興基金事務局までご連絡いただくか、寄附申込書を本学ホームページよりダウンロードしていただき、ご記入の上ご郵送ください。(FAX・E-mailでもOKです)。

三重大学振興基金事務局
【企画総務部総務チーム内】
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
TEL: 059-231-9005 FAX: 059-231-9000
E-mail: kikin@ab.mie-u.ac.jp
URL: http://www.mie-u.ac.jp/fund/

メールマガジンのご案内

三重大学では、地域の皆様への情報発信の一環として、メールマガジンを配信しています(発行:毎月末)。各種イベント、教育・研究活動上のトピックスなど、「三重大」に関する情報を広く学外へ紹介しています。多くの方々からのご意見・ご提言もいただきながら、地域とともに発展していきたいと考えています。

皆様のご登録を心からお待ちしております。

次の事項をご記入の上、下記メールアドレスまでメールをお送りください。

- 1.メールのタイトルは「メールマガジン希望」と記入してください。
- 2.メールの本文に、以下の事項を添えてください。
 ①「一般」もしくは、「三重大生(保護者)」 ②お住いの都道府県
koho@ab.mie-u.ac.jp
 できる限りパソコンのメールアドレスをご登録ください。携帯電話の場合、受信文字数の関係上、内容を一部省略させていただくことになります。

アンケートに答えて...

三重大オリジナル“えっくすくんわくわくシャーペン”をもらおう!!

「三重大X」をよりよくするために、ぜひアンケートにご協力をお願いします。アンケートにお答えいただいた方には、「えっくすくんわくわくシャーペン」をお送りします。どしどしお寄せください。(先着100名)
 *なお、お寄せいただいた個人情報は、景品発送のみに使わせていただきます。

→「えっくすくんわくわくシャーペン」ご希望の方は、巻末の綴じ込みはがきにご感想等必要事項をご記入の上ご投函ください。



三重大 企画総務部総務チーム 広報室
 〒514-8507 津市栗真町屋町1577
 TEL 059-231-9789 / FAX 059-231-9000
 ホームページ <http://www.mie-u.ac.jp/>
 E-mail koho@ab.mie-u.ac.jp *ご意見をお寄せください。

三重大 X[えっくす] vol.26
 平成23年7月15日発行
 ●発行/三重大学広報委員会
 ●編集/三重大学広報室
 ●印刷/有限会社アートピア artopia@zvtv.ne.jp
 ◎禁無断転載 本誌掲載の文章・記事・写真等の無断転載はお断りします。

■工学部「リカレント教育講座」

■メディカルバイオテクノロジーの進展

- ◎講師◎ 富田昌弘(工学部・教授)、湊元幹太(工学部・講師)
- ◎日時◎ 平成23年8月5日(金) 15:00~17:00
- ◎会場◎ 工学部 情報工学科棟1階 多目的会議室
- ◎受講料・定員◎ 無料・30名(先着順)
- ◎受講対象者◎ 市民一般
- ◎申込み期間◎ 6月13日(月)~7月29日(金)
- ◎問い合わせ先◎ 工学部 情報工学科棟1階 多目的会議室 / ☎059-231-9467
URL <http://www.eng.mie-u.ac.jp/>

■生物資源学部「公開講座」

①親子(孫)で120%科学を楽しむ仮説実験講座
 空気ってなあに?—もしも空気を1億倍したら、何が見える?—

- ◎日時◎ 平成23年8月6日(土)、8月7日(日) 10:00~15:00
- ◎会場◎ 生物資源学部 大講義室
- ◎受講料・定員◎ 参加費(1家族)3,000円+実験セット2,000円(実費)・60名(先着順)
- ◎受講対象者◎ 小学生以上(小学生は保護者同伴)
- ◎問い合わせ先◎ 生物資源学 研究科チーム総務担当 / ☎059-231-9626
URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/koukai>
申込方法と期間「受講申込書」により郵送、FAX、メール
6月24日(金)~7月19日(火)

②グローバルゼーションと食
 ~安全・安心で持続的な生産に向けて~

- 【第1回】平成23年10月15日(土)
- 【第2回】平成23年10月22日(土)
- 【第3回】平成23年10月29日(土)
- ◎時間◎ 毎回13:00~16:00(途中休憩あり)
- ◎会場◎ 生物資源学部 1階大会議室
- ◎受講料・定員◎ 無料・50名(先着順)
- ◎受講対象者◎ 高校生以上の市民一般
- ◎問い合わせ先◎ 生物資源学 研究科チーム総務担当 / ☎059-231-9626
URL <http://www.bio.mie-u.ac.jp/koukai>

■三重大学工学部物理工学科レゴロボット競技会 2011

- ◎日時◎ 平成23年8月3日(水) 13:00~
- ◎会場◎ 工学部 情報工学科棟1階 多目的会議室
- ◎受講料・定員◎ 無料・各約50名(申込み不要)
- ◎問い合わせ先◎ 工学部物理工学科 中村(松井) / ☎059-231-9375(9376)
- ◎その他詳細◎ URL <http://nickel.phen.mie-u.ac.jp/LEGO/index.html>

お知らせには、予定のものも含まれております。ご参加・お申し込みいただく場合には、必ず、電話・HPなどでご確認ください。

FM三重で放送中!!

■~学生の企画するFMラジオ番組~
「Campus CUBE」
 4月から本学のキャンパスパーソナリティーが新メンバーに!
 毎週金曜日20:30~20:55の間の25分間、放送中です!

皆さん、聴いてください!

パーソナリティー募集!
 対象は三重大生です!
 ぜひご応募ください!

★応募先★
 三重大学企画総務部総務チーム 広報室
 TEL 059-231-9789

ミツチエル カイ君

Open Campus

三重大学

オープンキャンパス

内容
 学部学科等の紹介、入試説明、
 体験授業、研究室見学など

8/1 MON

人文学部
工学部

8/3 WED

教育学部
医学部
生物資源学部



お問い合わせ先

〒514-8507 津市栗真町屋町1577

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063

FAX 059-231-5382



<http://www.mie-u.ac.jp/exam/>

三重大学 オープンキャンパス

検索

click!

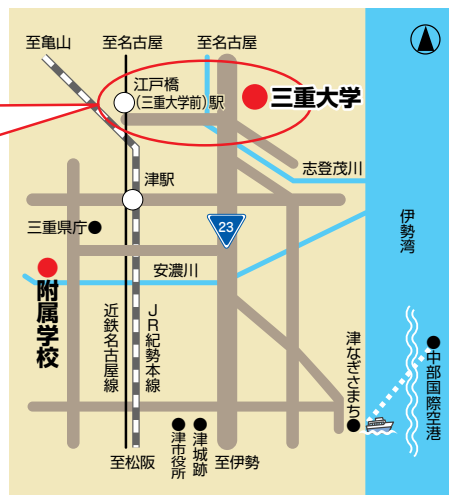
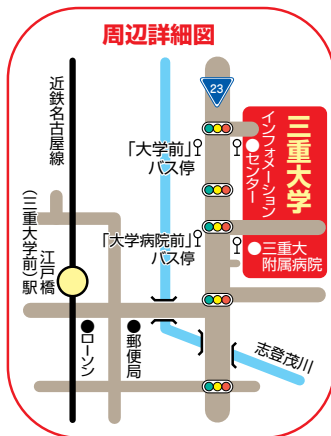
予告 秋の入試説明会開催!!

10/1

三重大学講堂(三翠ホール)

受験生、保護者の皆様へ

三重県、愛知県などで開催する進学説明会等・相談会においても、本学の様々な情報を提供いたします。詳細は、本学ホームページ「入試情報」をご覧ください。



交通のご案内

- 近鉄江戸橋(三重大学前)駅から徒歩約15分
- 津駅からタクシーで約10分
- 津駅前バスのりば「4番」から三交バスで「白塚駅前」(06系統)、「太陽の街」(40系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(おくもと)」(52系統)、「豊里ネオポリス」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「三行(みゆき)」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きで、「大学前」下車。
- 中部国際空港(セントレア)から津エアポートラインで津なぎさまちへ40分
 1. 「津なぎさまち」から三交バスで「津駅前」まで約15分
 2. 津なぎさまちからタクシーで三重大学まで約15分

三重大学

〒514-8507 三重県津市栗真町屋町1577

TEL 059-232-1211(代)

<http://www.mie-u.ac.jp/>

